

会社情報／株式情報

会 社 概 要（2016年8月31日現在）

商 号	株式会社SHIFT
代 表 者	代表取締役社長 丹下 大
本 社	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5メゾニック39MTビル TEL：03-6809-1165
設 立	2005年9月
資 本 金	574百万円
事 業 内 容	ソフトウェアの品質保証、テスト事業
取 得 特 許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成 するための装置およびプログラム

役 員（2016年11月25日現在）

代表取締役社長	丹 下 大
取 締 役	小 林 元 也
取 締 役	鈴 木 修
取 締 役	中 垣 徹 二 郎
常 勤 監 査 役	三 浦 進
監査役（非常勤）	木 呂 子 義 之
監査役（非常勤）	福 山 義 人

(注) 松尾 茂は、2017年3月1日までに取締役に就任の予定であります。
(注) 中垣 徹二郎は、社外取締役であります。
(注) 三浦 進、木呂子 義之及び福山 義人は、社外監査役であります。

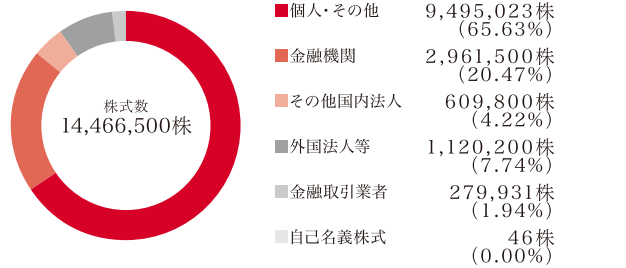
株 主 メ モ			
事 業 年 度	9月1日から8月31日まで	郵 便 物 送 付 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒 137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
定 時 株 主 総 会	毎年11月	電 話 照 会 先 公 告 掲 載 方 法	0120-232-711（フリーダイヤル） 当社ホームページに記載しております。 http://shiftinc.jp
基 準 日	8月31日		
剰余金の配当の基準日	8月31日及び2月28日 （閏年においては2月29日）		
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号		

株 式 の 状 況（2016年8月31日現在）

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	14,466,500株
株 主 数	3,049名
上 位 1 0 名 の 株 主	

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
丹下 大	6,839,500	47.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,668,000	11.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,053,300	7.28
Draper Nexus Technology Partners, LP	654,000	4.52
株式会社ワークスアプリケーションズ	167,000	1.15
シンプレクス株式会社	167,000	1.15
ビットアイル・エクイニクス株式会社	167,000	1.15
Draper Nexus Partners, LLC	125,500	0.87
山梨 剛史	122,500	0.85
野村信託銀行株式会社(投信口)	120,000	0.83

株式分布の状況



1つ目の通過点“売上高
100億円”を目指す。
ますます重要視される
製品品質と拡大する
SHIFTへのニーズ

ここが
ポイント！
業績から読み解く
SHIFTへの期待
SHIFTの挑戦
次の成長へ向けた
SHIFTが目指す
品質保証の姿



BUSINESS REPORT
2016年 8月期

2015年9月1日～2016年8月31日
証 券コード:3697

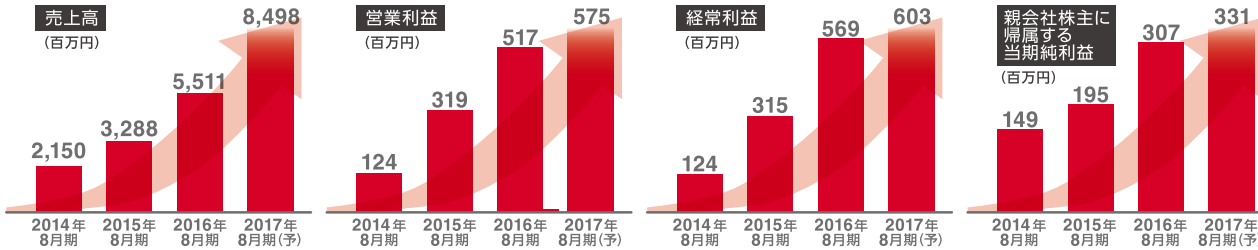
株主の皆様へ

『Made in Japan品質』が広がる世界を目指し、
更なる飛躍へ向けた一歩を踏み出しました。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社2016年8月期
(2015年9月1日～2016年8月31日)のビジネスレポートをお届けいたします。



積極的なサービス強化への投資を実施、エンタープライズ・エンターテインメント両領域において、大幅な成長を達成することができました。今後も、サービスポートフォリオの拡充、人材強化による業界認知度向上と市場拡大を目指してまいります。



2016年8月期を振り返って

売上高1,000億円企業に向けた、1つ目の通過点である成長戦略「SHIFT100 -シフトワンハンドレッド-」元年の2016年8月期は、以下の3点を重点施策として活動してまいりました。

- ・SIer領域での勝ちパターン構築
- ・エンターテインメント領域でのシェア獲得
- ・プロジェクト対応能力の拡大

お蔭様で、エンタープライズ・エンターテインメント両領域において順調に成果をあげ、通期売上高167%の成長を遂げ、企業規模の更なる拡大へ向けた確固たる礎を築くことができました。また、SHIFTの知見を活かした新しいサービスの立ち上げや、子会社設立・取得を進め、サービスポートフォリオの拡充に積極的に取り組み、SHIFTグループとして品質保証サービスを総合的に提供する体制の確立が進んだ1年となりました。

2017年8月期の取り組み

ソフトウェア業界におけるSHIFTの認知度向上に伴い、2016年8月期には、日本を牽引するトップ企業様との直取引をいくつか開始させていただきました。2017年8月期はこれを引き続き推進するとともに、更に、大規模かつ高難易度の案件を有する各業界トップ企業様との直取引への実現に注力してまいります。

それに伴い、人材の強化も最重要課題と位置づけ、特に2017年8月期上期を中心にハイスکیل人材の獲得・既存メンバーのスキルアップを実施いたします。また、長期的な成長を視野に入れた施策として、創業以来SHIFTが得意とする業務効率化を追求し、最新技術も積極的に活用しながら、更なる利益率の改善を目指してまいります。

日々、進化し続けるソフトウェア業界において国内外を問わず「ソフトウェアの品質保証専門企業SHIFT」を体現し、安心・安全なソフトウェアが広がる世界の実現を目指してまいります。

引き続き、SHIFTのチャレンジと成長にご期待いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 丹下 大

決算のポイント

受注環境は、通期を通して良好。今期注力領域として掲げたSIer業界での新規受注と、既存顧客における堅調な受注拡大が売上成長を牽引。

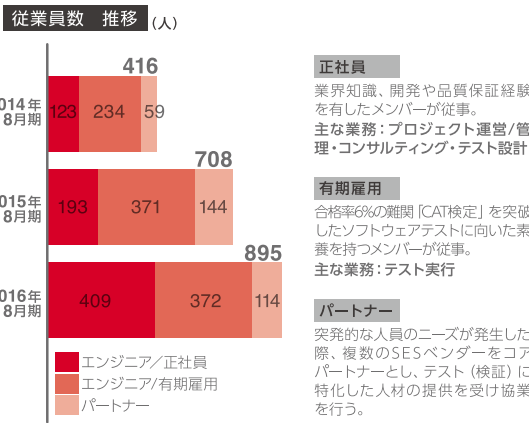
M&A、子会社設立など中長期成長を見据えた投資活動により優秀な人材の確保、サービスポートフォリオの拡充を推進、2016年8月期下期の売上成長にも寄与。

人材採用チャネルの多角化により、採用効率向上に成功、販管費の抑制に寄与。継続的な取り組みとして、引き続き推進。

2017年8月期の見通し

上期採用コストが利益に影響

メガクライアント(大規模・高難易度案件)の更なる開拓のための、業界に精通したハイスکیل人材(コンサルタント)の獲得を上期に予定。開発上流工程における高付加価値サービスを提供し、活躍する人材であり、下期から随時本格稼働化を見込む。



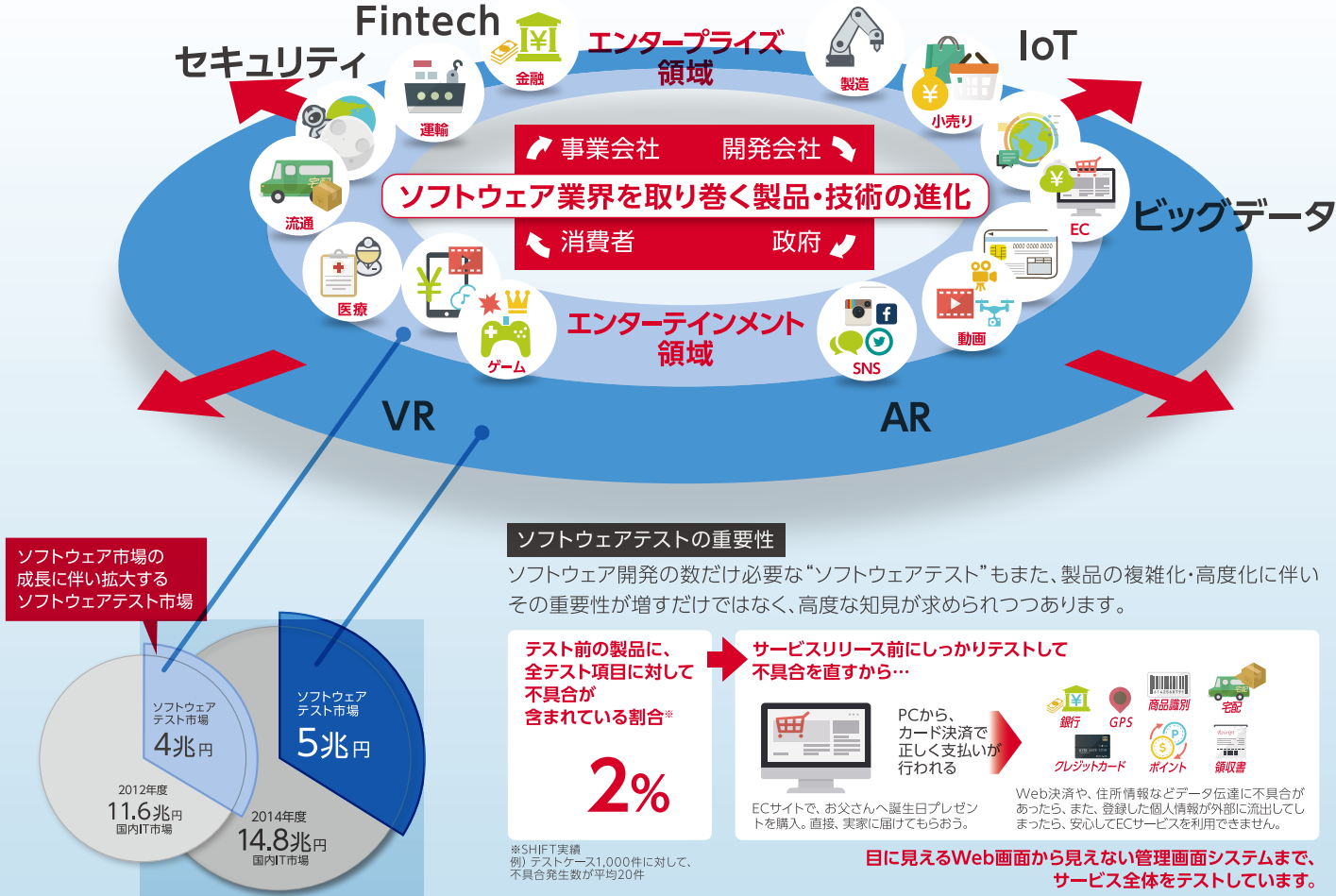
既存顧客ごとの受注規模拡大を進めながら、新規大型案件の獲得に向けた取り組みを推進

引き続き、エンタープライズ・エンターテインメント両領域における既存顧客の受注規模拡大を図りながら、開発上流工程から参画するメガクライアント獲得へ向けた社内人材のスキルレベル向上を進める。

(百万円)	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	金額	対前年比(%)	金額	対前年比(%)	金額	対前年比(%)	金額	対前年比(%)
第2四半期累計	3,498	139	122	61	139	67	65	50
通期	8,498	154	575	111	603	106	331	108

広がるソフトウェア市場とソフトウェアテストの重要性

「Fintech」「IoT」「ウェアラブル端末」「拡張現実 (AR) 」や「仮想現実 (VR) 」などのソフトウェア関連技術は、日増しに複雑化・高度化が進み、その開発市場は拡大の一途を辿っています。ソフトウェア技術の進化と普及に伴い、我々の生活は便利になる一方で、個人情報の漏洩に代表されるセキュリティ問題などの新たな課題も生まれ、その影響範囲は拡大する一方であると言えます。ソフトウェア製品を本来の目的どおり活用するために、ソフトウェアテストが果たすべき役割をSHIFTは、日々追求しています。



※参照データ/日本のIT市場規模：経済産業省 平成25年度情報通信業基本調査 (平成24年度実績) /ソフトウェア開発とテストの割合：ソフトウェア開発データ白書 2010-2011

※参照データ/日本のIT市場規模：経済産業省 平成27年情報通信業基本調査 (平成26年度実績) /ソフトウェア開発とテストの割合：ソフトウェア開発データ白書 2012-2013

安心して、快適に使うことができる安全なソフトウェア製品で溢れた社会の実現

日々、進化を遂げるソフトウェア製品。その大きな目的の1つは、我々の生活の中にあるあらゆる“作業”をより効率的に、そして快適にすることです。

SHIFTは、そうしたソフトウェア製品を社会に提供するための「最後の砦」として、開発された製品の不具合ゼロを目指し徹底的に検証します。

不具合のない安全なソフトウェア製品を提供するために -SHIFTが行うソフトウェアテスト-

SHIFTのソフトウェアテストの強み

徹底的に仕組み化された組織の中で、品質保証に適性を持つ人材が、効率的なテスト業務のために開発されたテスト支援ツール「CAT」を活用して生み出す圧倒的なパフォーマンスがSHIFTの強みです。



SHIFTが追求する「品質保証」のありかた

「治療」から「予防」へ

ソフトウェアテストの主な役割は、すでに出来てしまった不具合を見つけて治す作業です。“医療”の世界で例えると、体の悪いところを見つけて治す「治療」に相当します。一度、病気に掛かってしまったら治療のために入院したり、薬を飲んだりと費用も時間もかかってしまいます。

そこで、我々は、普段から病気を「予防」するために、“病気になるににくい健康な体作り”を心掛けます。

ソフトウェア製品の開発も同様です。潜んでしまった不具合を見つけて直すよりも、“不具合が出来づらい開発”を心掛けることで、余分なコストを削減できると同時に、開発者の時間を次の新しい製品や、機能の開発に効果的に使うことができるとSHIFTは考えています。

そこでSHIFTは、これまでのテスト業務で培った不具合データやノウハウをもとに、開発下流工程で実施するテスト実行业務だけではなく、不具合が出来づらい開発工程を創るため上流部分から、お客様(開発者)にしっかり寄り添ったサービスを展開します。

③ 「ソフトウェアテストのSHIFT」から「品質保証のSHIFT」を目指し、提供する「予防」と「治療」のサービス

「ソフトウェアテストのSHIFT」から「品質保証のSHIFT」へ
— 製品ライフサイクルのすべての工程に携わるサービスポートフォリオを確立 —

私たちは、品質保証の観点から安心・安全で快適なソフトウェア製品を提供するスペシャリスト集団です。
出来てしまった不具合を発見し改修を促す「治療」的なテスト業務はもちろんのこと、不具合の出来づらい、効率の良い開発業務の

推進を目指し、製品企画・開発段階からお客様をトータルサポートします。
また、製品リリース後のユーザーの声もしっかり把握することにより、開発上流工程へのフィードバックも可能になります。最適な品質、より魅力的で安全な製品を世の中に提供するために、知見を拡げ、明日へのノウハウに活用するSHIFTだからこそ、「ソフトウェアにおける品質保証」という観点から、私たちにしか出来ないことがあります。

